

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度	平成17年度	根拠法令・例規等	地方公務員法第42条 労働安全衛生規則第44条
総合計画	大項目	基本構想	06 行政「計画推進」	問合せ先	担当課(室) 総務課職員係 係長・仁井田由記 電話 0869-64-1808
	中項目	基本計画	10 計画を実現する行政		
	小項目	施策	47 積極的な人材育成・能力開発と組織の活性化		
事務事業名		06 福利厚生事業		このシート作成に要した時間	1.5 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	市民サービスを提供している全職員	
目的(何のために)	職員の福利厚生を図る事業	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	健康診断や人間ドック等を通じて職員全員が健康増進に関心を高め、健康体を維持することで公務の効率向上を目指す	

事業の実績			Do
細事業名	事業の説明	優先度	
表彰事務事業	市職員の永年勤続表彰(25年)等を実施するための事務	○	
厚生費補助事務事業	職員で組織する厚生活動実施団体が行う文化・体育・旅行事業等に活動に対して補助を行う事務	○	
健康相談事務事業	委託専門カウンセラーを招へいし、毎月、職員の健康相談の機会を提供する事務	◎	
健康診断委託事務事業	人間ドック取りまとめ事務や、法定検診等を実施し、職員の健康増進への関心を高めるための事務	◎	
目的を達成するために実施した事業			

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	直接事業費	千円	2,256	2,358	3,479
	必要人員(人件費)	人	0.04	0.05	0.06
	事業費計	千円	2,595	2,775	4,050
	国庫支出金				
	受益者負担				
財源	千円				
市債					
その他()					
一般財源		2,595	2,775	4,050	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	定期健康診断受診者数	説明	活動コスト＝健康診断委託事務事業(細事業)直接事業費÷人件費の計		
	結果指標量		219	220	240
	対前年比	%	-	100.5%	109.1%
	活動コスト	円	1,287,450	1,143,968	2,191,656
	単位当たりコスト		5,879	5,200	9,132

事業の成果							(平成25年度事業)
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値		
		目標値(A)	100	100	100	80	
特定保健指導受診率		81.9	65.4	56.1	到達目標値		
	達成率(B/A)	81.90%	65.40%	56.10%	100		
成果指標設定の考え方・式や説明							
特定保健指導が必要と診断された職員に対し、受診を促し、安全衛生面のサポートによる健康な職場づくりにつながることからこの指標にしています。							

事務事業の評価			該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の 妥当性 必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある		妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低い A
		<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い		
効率性の評価	コスト 手段	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低い B
		<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低い B

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
	○						
説明	特定保健指導受診率の減少により、未受診者が増加傾向にあります。未受診者への受診指導を行い、人間ドックも含め、より充実した職員の健康管理に努めていきます。また、今年度は健康診断の受診を期日指定から期間を設けて受診できるよう検討しています。						

総合評価		総合評価
メンタル面の病気で休暇取得を余儀なくされる職員が増えています。平成25年度「こころの健康調査」や「健康相談カード」の配付を行い、いつでも相談できる窓口を設けるなど、予防に重点をおいた取り組みを実施しています。今後も、職員が健康で、個々の能力を十分発揮できる職場環境となるよう努めます。		総合評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低い A

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				
取組目標	職員数の削減に伴い、ストレスを抱え、精神面で病気休暇を取得する職員が増えています。精神的な疾病は、復帰までに時間がかかることから、さらに予防に力を入れる必要があると考えています。毎月のカウンセリングの実施、いつでも相談できる職場支援体制、こころの健康調査等を継続実施し、職場内で効果的な支援ができるよう取り組みます。また、職員研修の実施とともに、担当職員の研修等参加による理解、知識の習得を図ります。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな